

人類の宇宙進出と地上のライフパフォーマンス向上に向けた スポーツ庁と国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構との連携協定

スポーツ庁と国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構は、以下の通り連携協力協定を締結する

【目的】

近年、宇宙探査の進展により、人類の活動領域は、地球のあらゆる領域から、地球低軌道を越え、月、更に深宇宙へと、本格的に宇宙空間に拡大しつつある。こうした人類の活動領域の拡大は、地球とは全く異なる環境・条件に適応していくための人類の新たな可能性を生み出す挑戦であり、人間の可能性の極限を追求する活動である。国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（以下「JAXA」という。）では、人類の活動領域拡大に向けて、宇宙科学に関する研究開発や、月等の地球外の天体における国際宇宙探査、国際宇宙ステーション（ISS）における微小重力環境等を利用した新たな知と産業の創造等を推進している。

また、スポーツは、心身の健全な発達、健康・体力の保持増進、精神的な充足感の獲得等のために国民生活に不可欠のものであるとともに、スポーツ選手の不断努力は、人間の可能性の極限を追求するものである。スポーツ庁では、性別や年齢等にかかわらず、あらゆる人々がスポーツの価値を享受し、ライフパフォーマンスを向上（それぞれのライフステージにおいて最高の能力が発揮できる状態）させるための取組や、トップアスリートやパラアスリートの育成という、人間の能力を開拓し、可能性を広げる取組を推進している。また、生物の進化や環境への適応能力、さらにはパラスポーツを始めとするスポーツで生かされてきた“一器多様^[1]”の観点を踏まえ、様々な環境における人間の能力開拓の可能性に関する研究等を検討している。

こういった各特性を踏まえ、人類の活動の可能性を広げる宇宙開発利用の取組と、地上において人類の心身能力の極限と心身の豊かさを実現するスポーツの取組が互いに知見を共有し連携することは、互いの活動の幅を広げるとともに、新たな価値の創出につながるものと考えられる。

このため、スポーツ庁と JAXA は、相互の理念と研究領域を生かし、研究活動やイベント開催等を通じ、人類の活動領域拡大に伴う環境適応能力の開拓や地上における人類の心身能力の開拓など様々な知見の蓄積、得られた知見を持続的な有人宇宙活動やスポーツに活用するとともに、宇宙分野やスポーツ分野における日本のプレゼンス

^[1] 一つの器官（筋、関節、神経、肺や心臓などの臓器、脳など）には一つの役割・機能だけが備わっているのではなく、一つの器官に複数の役割・機能が備わっている可能性があること。例えば、筋肉には「力を発揮する」という運動機能としての役割に加えて、筋肉の収縮・弛緩に伴う血管の収縮・拡張によって、全身の血流が良くなる点から「循環器」の機能としての役割も担っている。

の向上、民間ビジネスとの連携強化等を通じて社会・国民に新たな価値を提供することを目的として、連携協定を締結するものとする。

本連携協定の推進に当たっては、スポーツ庁、JAXA で、専門家も交えて情報交換・意見交換を行い、それぞれの組織の役割のもとで、以下に掲げる具体的な施策を検討・立案し、実施することとする。

【連携協力内容】

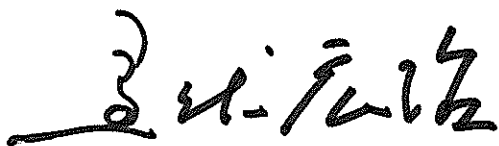
- 1 パラアスリートを含むトップアスリートと宇宙飛行士の一体的な強化に資するトレーニングの検討・実証
- 2 生物の進化や環境への適応能力、さらにはパラスポーツを始めとするスポーツで生かされてきた “一器多様”の観点を踏まえた人間の能力開拓の可能性に関する検討・連携
- 3 有人宇宙活動における健康管理等の技術・活動と、スポーツにおけるコンディショニング等の技術の連携による新たな価値を創造する研究・連携
- 4 人類の平和目的の活動を前提とするスポーツ交流、宇宙環境を考慮したスポーツの開拓
- 5 宇宙環境を考慮した新たなスポーツに参加するアスリートの健康および能力を守るための国際ルール作り
- 6 人類の宇宙進出と地上のライフパフォーマンス向上に向けた未来像の提示

【有効期間】

- ・本協定の有効期間は、締結日から令和9年3月31日までとする。
- ・ただし、期間満了の1か月前までに、いずれか一方から相手方に対し申し出がない限り、同一内容で1年間自動的に更新するものとし、以後も同様とする。

令和7年2月19日

スポーツ庁長官



国立研究開発法人

宇宙航空研究開発機構理事長

